

# **MC I – 6 0 Multi Control Interface**

Rev 2.4

## **取扱説明書**

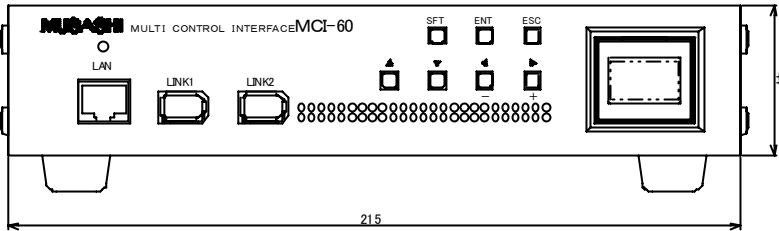
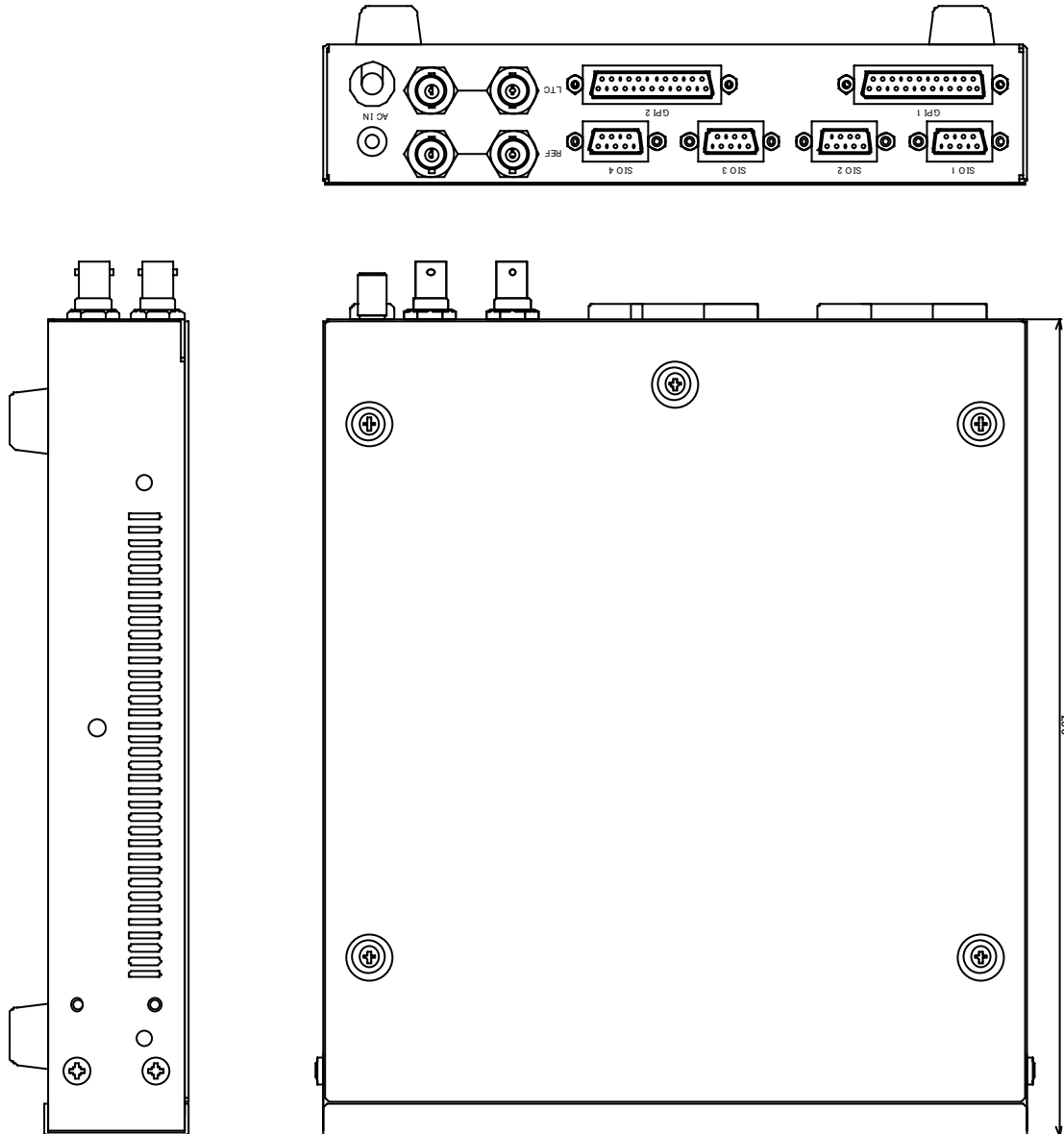
**武蔵株式会社**

更新履歴

訂 番	日 付	内 容	担 当
初版	2005年1月11日	初版作成	Jun
Rev 2.0	2006年8月31日	BUG等の変更	Jun
Rev2.1	2007年12月	GPI 機能追加	Jun
Rev2.2	2008年1月	以下の4項目メニュー追加 1.LOUTH 関係の機能 2.TC センスを2種類センスする機能 3.FullEE-OFF の送信 Delay 機能 4.Para Rec 時の REC 送信 Delay 機能	Utumi
Rev2.3	2008年7月	DevMgr 機能利用時において、個別に RemInp 機器 から Slave 機器 に制御をかける機能の追加	Utumi
Rev2.4	2012年2月	GPI パルス出力追加	Jnn

## 索引

1. 概要.....	4
2. 特徴.....	4
3. 各部の機能.....	4
3.1 フロントパネル.....	4
3.2 リアパネル.....	6
3.3 電氣的仕様.....	6
4. RS422/RS232C ピンアサイン詳細.....	7
5. GPI 機能と操作方法.....	8
5.1 ピンアサイン詳細.....	8
5.2 GPI のメニュー設定.....	10
5.1 電氣的特性.....	12
6. メニューの設定.....	13
6.1 メニューの操作方法.....	13
6.2 メニューの保存.....	13
6.3 メニューの読み出し.....	13
6.4 メニュー一覧.....	14
7. 外形寸法.....	21



.....21

## 1. 概要

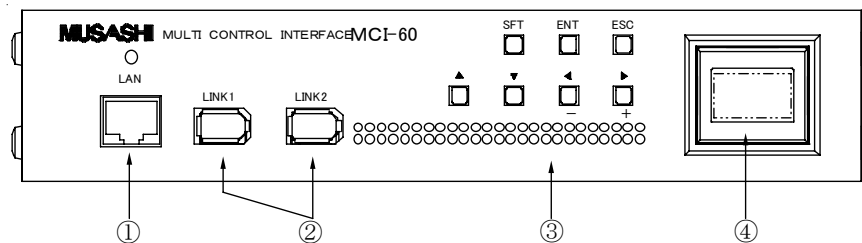
MCI-60 は、VTR 及びディスクレコーダー等を集中管理する為の装置です。  
複数台を Link する事により大規模なシステムへの対応も可能です。

## 2. 特徴

- EIA 1U のハーフサイズのコンパクト設計
- Link 機能が搭載されている為、大規模システムへの対応が可能
- 1台当たり SIO が 4 ポート搭載されていて、最大 8 台まで Link する事が可能です
- RS422 IF ボード/RS232C IF ボードの選択が可能なシリアルポートを 4Ch 装備
- 設定可能なパラレルポートを 2ch 装備。
- GPI 機能パラレル/シリアル機能装備。( SONY 9PIN コマンドに準拠 )

## 3. 各部の機能

### 3.1 フロントパネル



① LANコネクタ (RJ45 コネクタ)

PC との通信を行います。

② LINK コネクター

PC 又は本機を複数台使用する時に通信を行います。

③ メニュー操作部

メニュー等本機の設定を行います。

通常表示の場合、キー操作は行えません。

メニューモードに入った場合のみキー操作が有効になります。

**SFT+ESC** を押す事によりメニューモードになり本操作部で設定が行えます。

※本機はメンテナンス用に簡易的ステータスの表示が可能です。

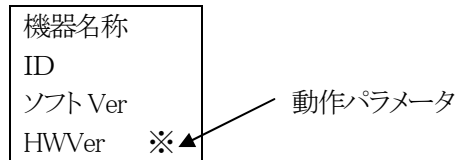
**SFT+表示SW**で確認が可能です但し通常は使用しないで下さい。

※メニューの詳細設定は「メニューの設定」項を参照して下さい。

## ④ 表示&amp;モード切替SW

本機内部動作の設定を行います。

**通常表示**・・・本機ソフトのバージョン及び動作状態パラメータを表示します。



動作パラメータは本機動作時に「 / 」表示が回転しています。  
※設定やシステム上の以上を表示するものではありません。

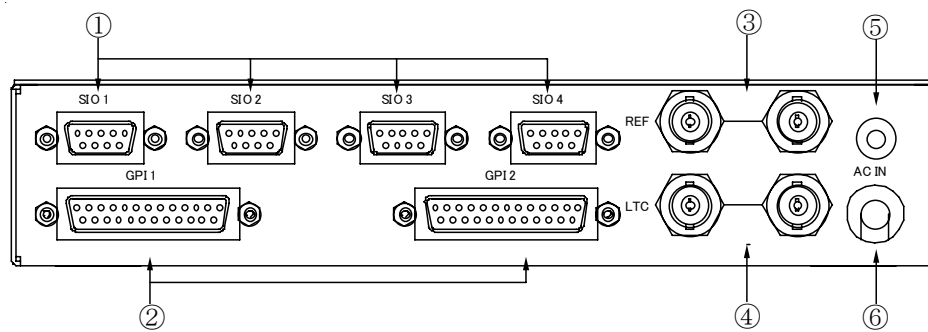
**メニュー表示**・・・本機内部パラメータの設定を行います。

システムに合わせて設定を行って下さい。



メニューの詳細設定は「メニューの設定」項を参照して下さい。

## 3.2 リアパネル



- ① SIO 1 ～ 4 (Dsub9Pin メスコネクタ)
  - ・制御 VTR 及びディスクレコーダー及び制御機器を接続します。
  - ・IF ボードの交換により RS422 / RS232C の選択が可能です。
- ② GPI 1 ～ 2 (Dsub25Pin メスコネクタ)
  - ・メニュー設定で多彩な機能が装備されています。
- ③ REF (BNC コネクタ)
  - ・NTSC 同期信号を入力します。(ループスルー付き)
- ④ LTC (BNC コネクタ)
  - ・未使用です。
- ⑤ GND 端子
  - ・フレーム GND に接続して下さい。
- ⑥ 電源ケーブル
  - ・ケーブル長 1.5m

## 3.3 電氣的仕様

- |          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| (1) 電源   | AC100 ～ 240V 50/60Hz(ケーブル長 1.5m)  |
| (2) 消費電力 | 約 6W                              |
| (3) 質量   | 約 2kg                             |
| (4) 外形寸法 | 215(W) × 44(H) × 250(D)mm(突起物含まず) |
| (5) 動作温度 | -5°C～40°C                         |
| (6) 動作湿度 | 10～90%(結露なきこと)                    |

## 4. RS422/RS232C ピンアサイン詳細

標準仕様では RS422 4ポートを装備しています。

(RS422 と RS232C は専用基板に入れ替えで対応します。)

17LE-13090-27(D4AB)		
PIN番	RS422Board	RS232CBoard
1	FrameGround	FrameGround
2	RX-	RXD
3	TX+	TXD
4	GND	GND
5	NC	NC
6	GND	GND
7	RX+	NC
8	TX-	NC
9	FrameGround	FrameGround



## 5. GPI 機能と操作方法

本機は、GPI の機能を設定する事が可能です。

GPI コネクタは2ch装備されています。各 GPI は入力8Bit と出力8Bit あります。

各入出力は**4制御ポート毎**に機能を割り付ける事が可能です。

## 5.1 ピンアサイン詳細

下記、メニュー設定毎に色分けして記載しました。

GIP1 IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	メニュー <b>Out1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
4	OUT3	メニュー <b>Out1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
5	OUT5	メニュー <b>Out1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
6	OUT7	メニュー <b>Out1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
7	GND	
8	GND	
9	IN1	メニュー <b>Inp1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
10	IN3	メニュー <b>Inp1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
11	IN5	メニュー <b>Inp1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
12	IN7	メニュー <b>Inp1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	メニュー <b>Out1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
16	OUT2	メニュー <b>Out1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
17	OUT4	メニュー <b>Out1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
18	OUT6	メニュー <b>Out1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
19	GND	
20	GND	
21	IN0	メニュー <b>Inp1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
22	IN2	メニュー <b>Inp1Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
23	IN4	メニュー <b>Inp1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
24	IN6	メニュー <b>Inp1Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
25	NC	

GIP2 IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	メニュー <b>Out2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
4	OUT3	メニュー <b>Out2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
5	OUT5	メニュー <b>Out2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
6	OUT7	メニュー <b>Out2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
7	GND	
8	GND	
9	IN1	メニュー <b>Inp2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
10	IN3	メニュー <b>Inp2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
11	IN5	メニュー <b>Inp2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
12	IN7	メニュー <b>Inp2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	メニュー <b>Out2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
16	OUT2	メニュー <b>Out2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
17	OUT4	メニュー <b>Out2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
18	OUT6	メニュー <b>Out2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
19	GND	
20	GND	
21	IN0	メニュー <b>Inp2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
22	IN2	メニュー <b>Inp2Lw</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
23	IN4	メニュー <b>Inp2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
24	IN6	メニュー <b>Inp2Hi</b> の設定で機能を割り付ける事が可能です。
25	NC	

## 5.2 GPI のメニュー設定

GPI 入出力は、それぞれ4ポート毎に機能を設定する事が可能です。

属性が**入力(IN)**の設定 SW等を接続可能です。

GPIの入力を使用する時は下記メニューを **CfgAsn** に設定して下さい。

関連メニュー		□は出荷時設定です。 ■は設定例です。	
GPI	InpMode	Disable	GPI 入力禁止
		Thr	通常は使用しません
		CfgAsn	Inp1Lw Inp1Hi / Inp2Lw Inp2Hi の設定で動作します。
		Opt	通常は使用しません

## Inp1Lw Inp1Hi / Inp2Lw Inp2Hi の設定

下記メニューで、GPI 属性 IN0-3 / IN4-7 の機能割り付けを行います。

関連メニュー		下記、□は出荷時設定です。
GPI	Inp1Lw Inp2Lw	<p>1) &lt;IN0-3 ピンに機能を設定します。&gt;</p> <p>2) <input type="checkbox"/> Disable IN0-3 の入力を禁止します</p> <p>3) &lt;4制御ポートに対応して同じ機能の割付を行います。&gt;</p> <p>STOP-C IN0-3 が STOP 設定されます</p> <p>PLAY-C IN0-3 が PLAY 設定されます</p> <p>REC-C IN0-3 が REC 設定されます</p> <p>CUE-C IN0-3 が CUE 設定されます</p> <p>SEARCH-C IN0-3 が SEARCH 設定されます</p> <p>STANDBY-C IN0-3 が ST-BY 設定されます</p> <p>OA-C IN0-3 が OA INHI 設定されます</p> <p>※REC/PLAY/STOP/ST-BY/JOG/VAR/STL/SEARCH/機能が、 操作禁止になります。</p> <p>4) &lt;1制御ポートに対応して REMA*REMB*機能の割付を行います&gt;</p> <p>REMA1-C IN0-3 がポート1に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA2-C IN0-3 がポート2に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA3-C IN0-3 がポート3に A 割り当て設定されます</p> <p>REMA4-C IN0-3 がポート4に A 割り当て設定されます</p> <p>※REMA* 機能の A 割付 (*は制御ポート番号です)</p> <p>IN0 STOP</p> <p>IN1 PLAY</p> <p>IN2 FREW</p> <p>IN3 FFOR</p> <p>REMB1-C IN0-3 がポート1に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB2-C IN0-3 がポート2に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB3-C IN0-3 がポート3に B 割り当て設定されます</p> <p>REMB4-C IN0-3 がポート4に B 割り当て設定されます</p> <p>※REMB* 機能の B 割付 (*は制御ポート番号です)</p> <p>IN0 REC</p> <p>IN1 CUE</p> <p>IN2 SEARCH</p> <p>IN3 ST-BY ON</p>
GPI	Inp1Hi Inp2Hi	<p>5) IN4-7 ピンの設定です。</p> <p>上記と同様システムに合わせて設定を行って下さい。</p>

属性が出力(OUT)の設定) LED等を接続可能です。

GPIの入力を使用する時は下記メニューを CfgAsn に設定して下さい。

関連メニュー		下記□は出荷時設定です。	
GPI	OutMode	<input type="checkbox"/> Disable	GPI 入力禁止
		<input type="checkbox"/> Thr	通常は使用しません
		<input checked="" type="checkbox"/> CfgAsn	Out1Lw Out1Hi / Out2Lw Out2Hi の設定で動作します。
		<input type="checkbox"/> Opt	通常は使用しません
		<input type="checkbox"/> Test	通常は使用しません(IN/OUT がスルー状態になります)

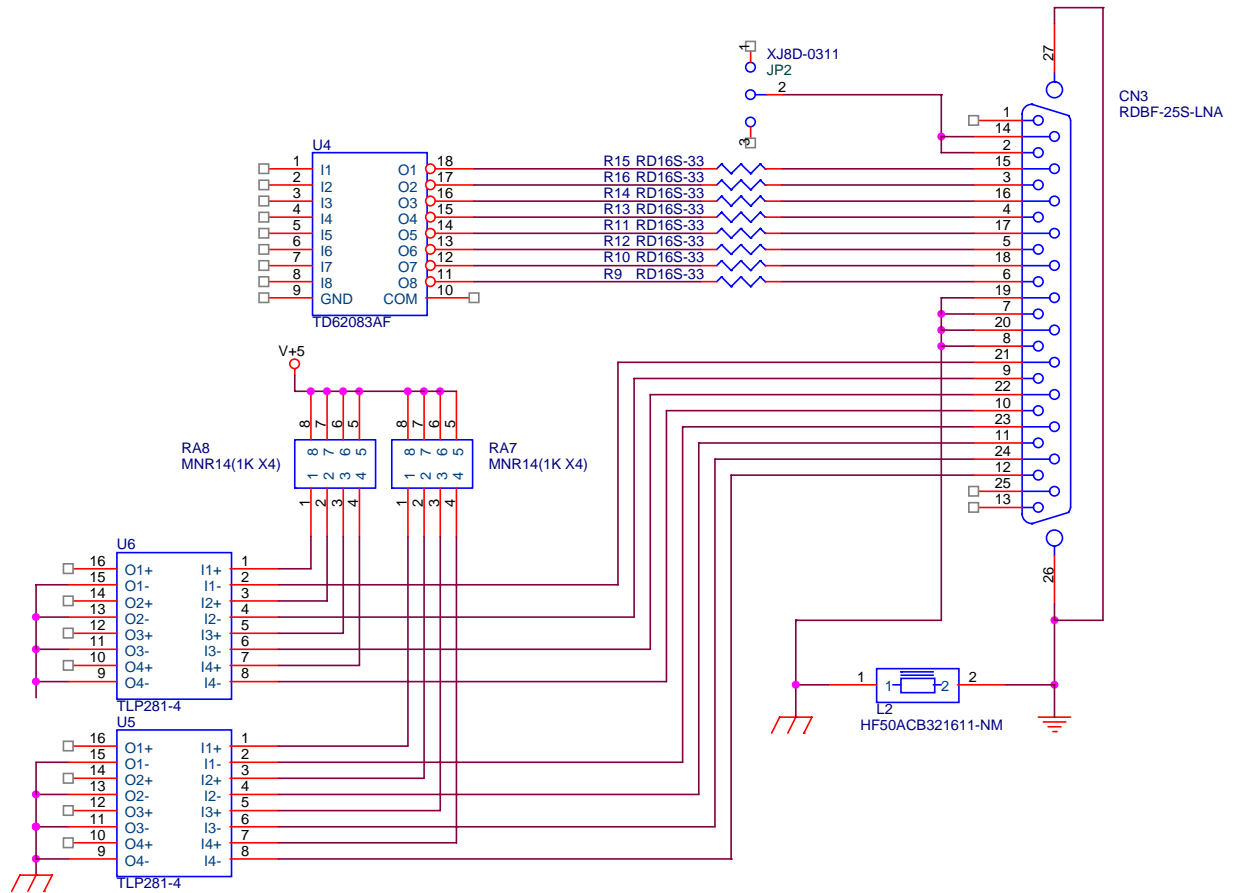
#### Out1Lw Out1Hi / Out2Lw Out2Hi の設定

下記メニューで、GPI 属性 OUT0-3 / OUT4-7 の機能割り付けを行います。

関連メニュー		□は出荷時設定です。	
GPI	Out1Lw	6) <OUT0-3 ピンに機能を設定します。>	
	Out2Lw	7) <input type="checkbox"/> Disable	OUT0-3 の出力を禁止します
		8) <4制御ポートに対応して同じ機能の割付を行います。>	
		STOP-S	IN0-3 が STOP 設定されます
		PLAY-S	IN0-3 が PLAY 設定されます
		REC-S	IN0-3 が REC 設定されます
		(a) SEARCH-S	IN0-3 が SEARCH 設定されます
		(b) STANDBY-S	IN0-3 が STANDBY 設定されます
		OA-S	IN0-3 が OA 設定されます
		OA2-S	IN0-3 が OA 設定されパルス出力されます。
		9) <1制御ポートに対応して REMA*REMB*機能の割付を行います>	
		REMA1-S	IN0-3 がポート1に A 割り当て設定されます
		REMA2-S	IN0-3 がポート2に A 割り当て設定されます
		REMA3-S	IN0-3 がポート3に A 割り当て設定されます
		REMA4-S	IN0-3 がポート4に A 割り当て設定されます
		※REMA* 機能の A 割付 (*は制御ポート番号です)	
		IN0	STOP
		IN1	PLAY
		IN2	FREW
		IN3	FFOR
		(a) REMB1-S	IN0-3 がポート1にB割り当て設定されます
		(b) REMB2-S	IN0-3 がポート2にB割り当て設定されます
		(c) REMB3-S	IN0-3 がポート3にB割り当て設定されます
		(d) REMB4-S	IN0-3 がポート4にB割り当て設定されます
		※REMB* 機能の B 割付 (*は制御ポート番号です)	
		IN0	REC
		IN1	---
		IN2	SEARCH
		IN3	ST-BY ON
		LevelL/LevelH/EventL/EventH	通常は使用しません
GPI	Out1Hi	10) OUT4-7 ピンの設定です。	
	Out2Hi	11) 上記と同様システムに合わせて設定を行って下さい。	

5.1 電気的特性

下記 GPI 入出力部の参考回路図です。



## 6. メニューの設定

### 6.1 メニューの操作方法

メニュー表示・・・本機内部パラメータの設定を行います。

システムに合わせて設定を行って下さい。

MAIN MENU
>項目表示
設定
設定

1. **SFT+ESC**でメニュー画面に入ります。
2. **▲▼**でメニュー項目を切り替えます。
3. **SFT+ . . .** でモード設定を変更します。( \* 表示があるものは設定可能です)
4. **ENT** でメニューの状態を変更します。
5. **ESC** でメニューの状態を1個戻します。

※SIO ポートの設定時は**表示&モード切替SW**押下でポート番号1～4の切り替えが出来ます。

### 6.2 メニューの保存

本機はシステムに合わせてメニューの内容を8パターン保存が可能です。

- ① **SFT+ESC** キーを押下し、メニューモードに入り **▲▼**で **>SYSTEM** を選択します。
- ② **ENT** キーを押下し、**System** 設定モードに入り **▲▼**で 「 **\$CfgBnkSv** 」 を選択します。
- ③ **SFT+ . . .** で各下記 Bank 番号を選択します。
- ④ **ENT** で保存を行います。保存後は自動で **RESET** がかかります。

Bank の設定	
Non	何もしません。
Bank1	※
Bank2	※
Bank3	※
Bank4	※
Bank5	※
Bank6	※
Bank7	※
Bank8	※

※Bank に各種システムに合わせた設定を登録しておく事が可能です。

### 6.3 メニューの読み出し

本機はシステムに合わせてメニューの内容を8パターン読み出しが可能です。

- ① **SFT+ESC** キーを押下し、メニューモードに入り **▲▼**で **>COMMON** を選択します。
- ② **ENT** キーを押下し、**Common** 設定モードに入り **▲▼**で 「 **\$CfgBnkLd** 」 を選択します。
- ③ **SFT+ . . .** で各 Bank 番号を選択します。
- ④ **ENT** で読み出しを行います。読み出し後は自動で **RESET** がかかります。

## 6.4 メニュー一覧

- ・項目「 \$ 」表示がついている項目は電源の再投入又は RESET 後反映されます。
- ・項目「 # 」表示がついている項目は設定後、リスタートがかかります。

COMMON — メインモードの設定	
項目	設定
#CfgBankLd	メニュー内容の呼び出しを行います。 > <input type="text" value="Non"/> > Bank1～8
#UnitID	本機の機器番号です。 本機を複数台を LINK して使用する時は必ず、各機器の ID を違う値に設定して下さい。 > <input type="text" value="1ID"/> / 2ID / 3ID / 4ID / 5ID / 6ID / 7ID / 8ID
\$UnitMode	動作モードを設定します。通常は標準モードで使用して下さい。 > <input type="text" value="Normal"/> ——— 標準機能モード > Mode1 ——— 予備 1 > Mode2 ——— 予備 2

DEV MGR — デバイスマネージャの設定 ——— 本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定
DvSycMod	PLAY 再生時の調相制御の設定を行います。
RefDev	マスター機となるデバイス ID を選択します。
ShowTime	デバイスの基準時間を設定する事が可能です。
RecDvLw	Slave1～8 の REC イネーブル指定の設定です。
RecDvHi	Slave9～16 の REC イネーブル指定の設定です。
SycDvLw	Slave1～8 の VirMcn 制御指定の設定です。
SycDvHi	Slave9～16 の VirMcn 制御指定の設定です。
\$AsnRmIn	各ポートの入力の系統のアサインを自動で行います。
\$AsnRmOut	各ポートの出力の系統のアサインを自動で行います。
DEV MGR — デバイスマネージャの設定 ——— 本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定

AsnRmIn 01 - 08	各ポートの入力の系統のアサインを行います。
AsnRmOut 01 - 16	各ポートの系統の選択を行います。
CtrDst 01-08	RemInp 機器の制御先の 割当を行います。
PbEeDist	PB/EE コマンドの指定を行います。
DmStMod	TC とステータスの指定を行います。
DmStChkWt	TC とステータスの動作タイミングパラメータです。

SIO---- SIO ポートの設定----本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定
PortName	SIO の表示名を変更します。
Baud Rate	SIO のボーレートを設定します。
DataBit	SIO のデータビットを設定します。
Parity	SIO のパリティビットを設定します。
StopBit	SIO のストップビットを設定します。
Pin Assign	SIO の方向制御を設定します。
FrmTout	フレーム通信のタイムアウト値を設定します。
ChrTout	受信キャラクタ間のタイムアウト値を設定します。
PortAsn	各ポートに対するコントローラとデバイスの設定です。
PrtclTyp	通信プロトコルタイプを設定します。
PortAtr	各ポートが録画系か再生系の設定をします。
LouSgPtRec	LOUTH プロトコル使用時、REC 系信号ポートの ID を設定します。
LouSgPtPlay	LOUTH プロトコル使用時、PLAY 系信号ポートの ID を設定します。
SIO---- SIO ポートの設定----本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定



LouCupCmd	LOUTH プロトコル使用時、CUEUP 処理で使用されるパラメータを設定します。
LouFnmSns	LOUTH プロトコル使用時、ファイル名センス処理で使用されるパラメータを設定します。
LouTcSnCt	LOUTH 機器に対してセンスする TC 種別数 について設定します。
FrameType	フレームタイプの設定をします。
DF-Mode	フレームタイプの動作モードの設定をします。
StopCmd	停止の時のコマンドの設定をします。
CupTcTyp	CUE UP 時のタイムコードの設定をします。
ReqStsLen	VTR のステータスセンスコマンドの調整をします。
ReqTcMode	取得タイムコードの選択をします。
ReqTcMode2	2 つ目の取得タイムコードの選択をします。
ReqTcTmg1	1 つ目の TC センスのタイミング調整をします。
ReqTcTmg2	2 つ目の TC センスのタイミング調整をします。
UbitSns	取得タイムコードの Users Bit の設定をします。
SpeedSns	Var スピードコマンドの設定を行います。
DevTypMd	機器に対するデバイスタイプリクエスト送信動作の選択を行います。
PbEeMod	EE/PB のコマンド送信の設定をおこないます。
PbEeDly	Play 系制御後の FullEE-OFF コマンドの送信に設定フレーム値分、Delay をかけます。
FnmSnsTyp	Doremi 向けファイルマンドの設定をおこないます。
SdskMcnTyp	Disk 機器向けの カレントファイル の センスコマンド の選択をおこないます。
EdtPrsSts	“Edit Preset Sense”コマンドの設定を行います。

SIO---- SIO ポートの設定----本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。

項目	設定
----	----

EdtInOfs	Edit In 点の設定を行います。
EditOutOfs	Edit Out 点の設定を行います。
EdtOffCmd	Edit モードから抜ける為の設定を行います。
CupMode	調相制御パラメータの設定を行います。
CupFfrDif	調相制御パラメータの設定を行います。
CupStatWt	調相制御パラメータの設定を行います。
CupChkWt	調相制御パラメータの設定を行います。
CupCmplWt	調相制御パラメータの設定を行います。
CupStpAdj	調相制御パラメータの設定を行います。
SyncPosi	制御装置の基準タイムコードの設定を行います。
SycCtlMod	調相制御方式の設定を行います。
CueTgtOfs	調相制御パラメータの設定を行います。
CueTgtWd	調相制御パラメータの設定を行います。
CuePlayTmg	調相制御パラメータの設定を行います。
SycStaTmg	調相制御パラメータの設定を行います。
Syc Grade	調相制御パラメータの設定を行います。
SycRsyncSW	調相制御パラメータの設定を行います。
SycRsyncDf	調相制御パラメータの設定を行います。
PraRecDly	調相制御パラメータの設定を行います。
SycPrm	調相制御パラメータの設定を行います。

SIO---- SIO ポートの設定----本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。

項目	設定
----	----

StsAnsDly	通信制御パラメータの設定を行います。
OptCmdBmp	通信制御パラメータの設定を行います。
SioSysPrA	通信拡張通信用パラメータの設定を行います。
SioSysPrB	メーカー内部パラメータ。

GPI—GPI の設定——本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定
InpMode	GPI の入力の基本動作設定 > <input type="checkbox"/> Disable ———— GPI 入力を無効にします。 > Thr ————— PC で制御する時に使用します。 > CfgAsn ———— GPI 入力を有効にします。(InpLw/InpHi による) > Opt ————— 拡張用(未定義)
Inp1Lw	GPI1 入力の下位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-C / STOP-C / PLAY-C / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
Inp1Hi	GPI1 入力の上位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-C / STOP-C / PLAY-C / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
Inp2Lw	GPI2 入力の下位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-C / STOP-C / PLAY-C / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
Inp2Hi	GPI2 入力の上位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-C / STOP-C / PLAY-C / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
OutMod	GPI の出力の基本動作設定 > <input type="checkbox"/> Disable ———— GPI 入力を無効にします。 > Thr ————— PC で制御する時に使用します。 > CfgAsn ———— GPI 入力を有効にします。(InpLw/InpHi による) > Opt ————— 拡張用(未定義) > Test ————— 拡張用(社内調整用)
Out1Lw	GPI1 出力の下位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-S/ OA2-S / STOP-S / PLAY-S / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C/ REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C

GPI—GPI の設定——本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定

Out1Hi	GPI1 出力の上位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-S / OA2-S / STOP-S / PLAY-S / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C / REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
Out2Lw	GPI2 出力の下位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-S / OA2-S / STOP-S / PLAY-S / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C / REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C
Out2Hi	GPI2 出力の上位4Bit の制御の設定を行います。 詳細設定は別途 GPI の設定項を参照して下さい。 > <input type="checkbox"/> Disable / OA-S / OA2-S / STOP-S / PLAY-S / REMA1-C / REBA2-C / REMA3-C / REMA4-C / REMB1-C / REBB2-C / REMB3-C / REMB4-C

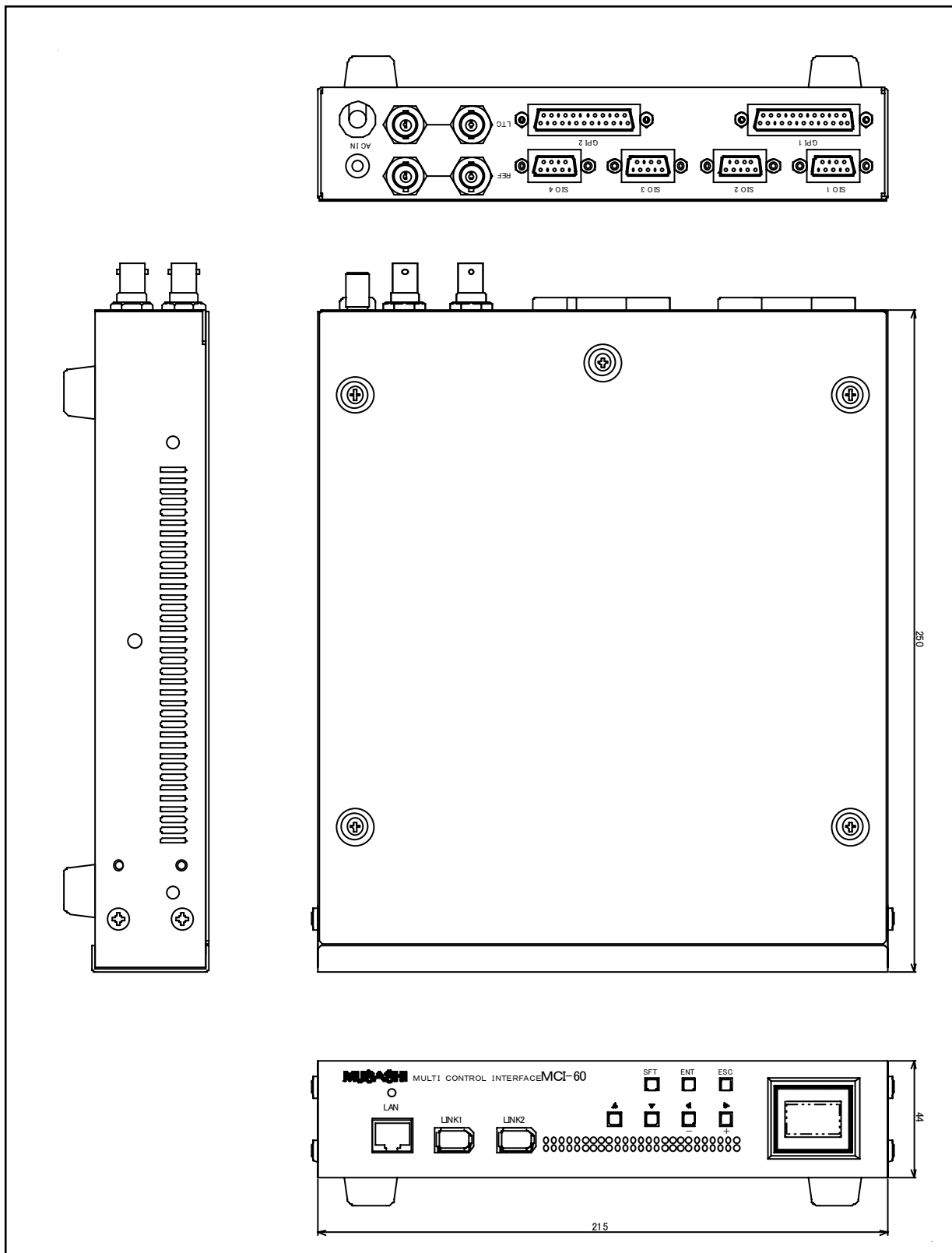
LAN/LINK——LAN/Link の設定——本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定
IpAdrs	IP アドレスを設定します。 PC 等を使用する時はシステムに合わせて設定して下さい。 > <input type="text" value="192.168.001.240"/>
IpMask	サブネットマスクを設定します。 PC 等を使用する時はシステムに合わせて設定して下さい。 > <input type="text" value="255.255.255.000"/>
LanRspMpd	LAN 通信の機能の設定です。 PC アプリケーションソフトに合わせて設定を行って下さい。 > Disable —— 通知しない。 > RtStEna —— 周期ステータスのみ通知します。 > OpStEna —— 操作イベントのみ通知します。 > <input type="checkbox"/> AllEna —— 全て通知します。
LanRspUnt	LAN 通信機能の PC 側の UnitID の設定です。 > 0 ~ ** <input type="text" value="8"/>
LanRspInt	PC と LAN で接続した場合の PC へのステータス通知間隔 > 0 ~ 3 <input type="text" value="3"/>
LanRtryCt	LAN 通信の送信トライ回数の設定です。 > 0 ~ 30 <input type="text" value="10"/>
LanRtyIv	LAN 通信の送信トライ間隔の設定です。 > 0 ~ 30 <input type="text" value="3"/>
LkRefOut	LINK 通信の機能の設定です。 > ON > <input type="checkbox"/> OFF
LAN/LINK——LAN/Link の設定——本設定はシステムに合わせて設定ありますので、変更しないで下さい。	
項目	設定

LkRspMod	LINK 通信の機能の設定です。 PC アプリケーションソフトに合わせて設定を行って下さい。 > Disable ——— 通知しない。 > RtStEna —— 周期ステータスのみ通知します。 > OpStEna —— 操作イベントのみ通知します。 > AllEna ——— 全て通知します。
LkRspUnt	LINK 通信機能の PC 側の UnitID の設定です。 接続通常は Def にして下さい。 > 0 ~ ** <input type="text" value="8"/>
\$LkSchSpd	LINK 通信の通信スピードの設定を行います。 > 100 / 200 / <input type="text" value="400"/>
\$LkBusMod	LINK 通信の接続先機器への探索動作の設定を行います。 接続通常は Def にして下さい。 > Normal / <input type="text" value="Model"/>
\$LkSchSec	LINK 通信の接続先機器への探索時間の設定を行います。 接続通常は Def にして下さい。 > 0 ~ 30 <input type="text" value="3"/>
\$LkPtDis	LINK 通信の LINK ポートのマスク指定の設定を行います。 接続通常は Def にして下さい。 <input type="text" value="Normal"/> / DisPort1 / DisPort2 / DisAll
LkSysPrmA	LINK 通信用パラメータの設定です。 通常は Def にして下さい。(社内調整用) > 0 ~ 32 <input type="text" value="4"/>

SYSTEM — システム IF の表示及び設定	
項目	設定
MacAdr	武蔵製製品単体の MAC アドレスを表示します。 機器固有の番号が登録してあります。
SysFrmTyp	システムフレームタイプの設定 > <input type="text" value="NTSC"/> > PAL
\$CfgBnkSv	メニュー内容の保存を行います。 > <input type="text" value="Non"/> > Bank1~8

SIF+ENT+ESC を押しながら電源を再投入するか、RESET SW を押すと工場出荷時の設定になります。  
(Bank 内容は初期化しません。)

7. 外形寸法



MCI-60 外觀図

\* 仕様及び外觀は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## 武蔵株式会社

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜（休祝日を除く）

**E-Mail** : [info@musashi-kk.co.jp](mailto:info@musashi-kk.co.jp)

**URL** : <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---